

研究課題名	肺の線維化とクローン性造血の関連についての検討
研究期間	実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、日本医療研究開発機構（AMED）、バイオバンク・ジャパン、ライフサイエンス統合データベースセンター、ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク（NCBN）に臨床情報、ゲノム情報が登録されている方。
研究の目的・方法	研究目的：間質性肺炎とクローン性造血の関連を検証することです。 研究の方法：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、AMED、バイオバンク・ジャパン、ライフサイエンス統合データベースセンター、NCBN に登録されている研究対象者の臨床情報、全ゲノムシーケンスデータを使用して、間質性肺炎でクローン性造血の原因となる遺伝子変異の検出頻度が高いかを検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、喫煙歴、併存症/既往症、呼吸機能検査結果、全ゲノムシーケンスデータ 試料：なし 試料・情報の管理責任者：広島大学病院医系科学研究科分子内科学教授 服部登
利用または提供を開始する予定日	2025 年 9 月 18 日（実施許可日以降） ※実施許可が得られた後、事務にて記入 ※実施許可日以降で、予定日が決まっている場合はその日付を記載してください。特になければ、事務にて掲載時に日付を記入します。
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本施設の研究責任者 広島大学病院医系科学研究科分子内科学教授 服部登 本施設の研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究代表者 広島大学病院医系科学研究科分子内科学教授 服部登 共同研究機関 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 尾崎浩一

	<p>既存試料・情報の提供機関</p> <p>バイオバンク・ジャパン 松田浩一</p> <p>ライフサイエンス統合データベースセンター 五斗進</p> <p>ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク 徳永勝士</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 呼吸器内科</p> <p>担当者：大学院生 渡 直和、講師 中島 拓</p> <p>〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3</p> <p>電話番号：082-257-5196</p>